

## 平成24年度事業計画について

### 《基本方針》

急激な円高の進行、ヨーロッパ諸国経済の不安定等による、国内産業は厳しい経済雇用情勢が以前続き、景気回復は先行き不透明です。行政刷新会議の事業仕分けの結果、シルバー人材センターに対する補助金の削減により、事業運営費は極限に達しています。全国シルバー人材センター事業協議会や中国ブロック協議会等においては、センターの解散がささやかれる等の発言は、こういった厳しい状況を指しています。このような状況のもと、社会参加からやや潜在的と思われる経済的な動機から入会を希望する高齢者が増えつつある一方、公共や一般企業からの発注減による契約金額は、ここしばらく回復しないものと考えられます。ついては、個人や一般家庭からの発注発掘に期待して取り組みたいと考えています。

シルバー人材センター事業は、「自主・自立・協働・共助」を基本理念として、国の雇用就業施策の担い手という立場を両立させながら、就業を通して高齢者の福祉を実現するという意味の「生きがい就業」を中心として事業展開し、高齢者の真摯な就業態度や地域に密着した事業活動を行い、地域社会に必要なシルバー人材センターとして努力をして参りました。本年度からは、国の公益法人制度改革による厳しい認定基準を乗り越え、公益社団法人萩広域シルバー人材センターとして新しく出発します。従来以上に行政や地域社会からの幅広い理解と協力が期待される公益法人として、高齢者の知識や豊かな経験を活かしながら、「活力ある高齢化社会」を支える組織となれるように、また、法令遵守した公益法人としてふさわしいシルバー人材センター事業を一層実践していかなくてはなりません。

シルバー人材センター事業の更なる発展と飛躍を目指し、より一層の効率的な事業運営を行うと共に、発注者はもちろんのこと高齢者や地域社会からのニーズに応えられるよう、会員・役職員一丸となり前進したいと考えます。

### 事業計画

#### ①公益社団法人に則した事業運営の遵守

特例民法法人から公益社団法人への移行を果たし、従来の法人運営から一段と厳しい公益法人としての運営基準と関係法令を遵守し、行政や地域社会から理解と協力が期待される公益社団法人を目指します。

#### ②就業開拓の推進

会員や役職員による公共・一般企業等あらゆるところに一丸となって積極的な訪問により、高齢者にふさわしい就業機会の開拓に努めます。また、就業希望のミスマッチの解消に会員と協議し改善の取り組みを目指します。

#### ③安全・適正就業の推進

会員の災害及び事故防止の為、安全意識の更なる高揚を行い、安全管理体制、事故防止措置、会員の健康管理を常に発信続けます。適正就業については長期に渡る就業や契約内容の適正化を図ります。

#### ④関係機関や団体との連携強化

関係行政機関、全国シルバー人材センター事業協会、山口県シルバー人材センター連合会並びに近隣の北浦地区のセンターとの連携強化を図ります。